

山歩きガイドマップ



TAKASHIROYAMA

高城山

～丹波攻めと八上城城主
・波多野の夢の跡～

高城山 (462 m)



標高462mの朝路山や丹波富士と呼ばれる秀峰です。頂上の本丸を中心に、全山に完備した模範的な防御構築が施されていて、戦国時代の代表的な山城です。本丸付近には当時をしのぶ石垣がわずかに残っています。

国指定史跡 八上城跡



八上城跡は、室町時代から戦国時代にかけて、丹波地方の有力国人である波多野氏が本拠地とした山城です。篠山盆地の中央南部、山陰街道が東西に貫く八上を北麓に見下ろす高城山とその西側の法光寺山（標高約340m）に位置します。波多野氏は、応仁の乱の戦功によって多紀郡小守護代となり、15世紀後半に、高城山南西の尾根先端部に奥谷城を築き、奥谷に城下町を置きました。16世紀前半には、高城山主峰部に八上城を築きこれを本城とし、奥谷城は支城として改修されました。16世紀中頃に、三好長慶や松永久秀と対立して、一時八上城を攻め取られたが、永禄9年（1566）に取り戻しました。支城である法光寺城は、これらの抗争に先立ち、八上城と城下の防御力を高める目的で築かれたものです。また、その後、城下の中心は奥谷から街道沿いの八上へと移ったとされます。天正7年（1579）、織田信長の丹波攻略の一環として、明智光秀による兵糧攻めにより、八上城は落城し、波多野氏は滅亡しました。以後、前田氏などが八上城へ入ったが、慶長14年（1609）の篠山城築城により八上城は廃城となりました。八上城跡は、本城と支城が城下を挟んで配置されるなど、中世山城の典型的な姿を留めており、戦国領土の支配拠点の様相を現在に伝える史跡として大変重要です。

周辺観光情報

八上一里塚

一里塚とは、一里（約4キロメートル）ごとに設けられた一種の路程標です。篠山藩では篠山城築城とともに、京街道に沿って大手門を基点とし、一里ごとに土を盛り松を植えて標識としました。ここが最初の一里塚です。



市指定文化財 高城屋敷門

八上城内の屋敷門を、後年篠山城下の武家屋敷門として移築したものです。一間一戸、切妻造の薬医門で、当初は茅葺であったのが、移築後瓦葺に改装されました。



市指定文化財 重兵衛茶屋



江戸時代に、京都から亀岡と篠山を經由して但馬方面へぬける山陰街道が通過していたところです。さらにはここから小枕を經由して播州方面へ向かう播磨街道との分岐点にもなっていました。大名の参勤交代の時や一般庶人の休泊所として利用されていました。

主膳屋敷跡



昔の政庁の跡で、落城後は明智光秀、前田玄以ら、最後には松平康重の居館があった所です。

鴻の巣



西からの敵に備えた番所です。昔、鴻の鳥が巣をかけて名が付けられたものらしいです。

下の茶屋丸・上の茶屋丸・中の壇



西側への眺望が素晴らしいです。西より近く敵に備えた最も重要な陣地です。

右衛門丸跡



波多野秀治が在城のときの屋敷があった場所です。西方を防備し、無丸にも通じ、全山の連絡や指揮にあたる場所です。

三の丸跡



灰白色の屋根瓦の破片が発見されているので建物があったことがわかり、北側には石垣の一部が残っています。南に楕円の群生する谷があり、この下に南の谷を防御するための平地がありました。

二の丸跡



三の丸の斜面を登ると、二の丸の入口に左右2個の門柱の礎石がある。本丸台地との間に排水溝の石垣があり、建物のあったことが証明されます。

本丸跡



天守閣については永禄年間、松永久秀が始めて造ったといわれ、明らかではないが、すでに秀経時代にここに望楼が築かれていて、四方に号令していたと思われる。現在、本丸の中央に昭和7年建立の波多野秀治の顕彰碑が建っています。

岡田丸跡



本丸の北側下に広がる台地で、波多野秀治の重臣岡田某の屋敷跡です。東側及び北側に対する防備陣地で、眺望に優れています。

朝路池跡



籠城の際の生命をたくした貯水池です。落城のとき、朝路姫がこの池に身を投げて死んだといわれます。

はりつけ松跡



人質の明智光秀の母や腰元、明智の付き人侍3人を松につるして、磔（はりつけ）の刑に処したと伝えられる松は直径1m以上もあった老松の根株が昭和初期まで残っていました。

馬駈場



茶屋の壇に続く平坦な尾根道で、長さ220mあり、芥丸、西蔵丸より東方、山麓に通ずる人馬の急走のために設けられたものである。

芥丸跡



東南の曾地方面、福住街道や、遠くは本庄、村雲方面を監視し、野々垣、西庄口よりの攻撃に備えた重要陣地です。眺望に優れています。

西蔵丸跡



芥丸を北へ下り、また少し登った所にある。北方の畑、城北方面を監視し、八上街道を警備する重要地点でした。

温泉情報

こんだ薬師温泉ぬくもりの郷

地下1300mから湧き出る効能豊かなたっぶりのお湯を循環させずにそのまま流すかけ流しの風呂です。丹波焼を湯船や床に使用した丹波焼陶板風呂と、丹波産の丹波石をふんだんに使った丹波石岩風呂、2種類の風呂があり、男湯・女湯が週毎に入れ替わります。広々とした大浴場でごゆっくりお過ごしください。



篠山市今田町今田新田21-10
(079) 590-3377

草山温泉「観音湯」

観音湯は多紀連山の麓、丹波の自然と山の幸に恵まれた草山盆地にある日帰り温泉施設です。温泉は寛永年間からの歴史を持つと言われる茶褐色の濁り湯で海水の1.5倍の塩分を含む強塩泉です。四季折々の自然を満喫できる露天風呂やサウナが楽しめます。



篠山市遠方石ノ堂41-1 (079) 592-0211

菴坊温泉

約800年前、平家の落武者が発見し、戦傷を癒したと伝えられています。寺のお坊さんがこの落武者を囲っていたことから、「かごみ坊」と呼ばれる地名になったと伝えられています。四季折々の景観が見事な山間の温泉です。

篠山市後川新田 (079) 552-3380 (篠山観光案内所)

王地山公園ささやま荘

「王地山まけきらいの湯」

丹波篠山の町並みを見渡せる絶景の地、王地山に建つ宿泊施設です。天然温泉のまけきらいの湯も魅力の一つ。黒瓦の屋根と篠山川を背景に春は桜、秋は紅葉が彩りをそえます。自然が作り上げた最上の空間と真心のこもったおもてなしで情緒あふれるひとときをどうぞ。



篠山市河原町474-1
(079) 552-1127



山歩きガイドマップ

TAKASHIROYAMA

高城山

～丹波攻めと八上城城主・波多野の夢の跡～

織田信長の「天下統一」が始まった天正3年、明智光秀、羽柴秀長らの大軍による丹波攻めが始まり、11回にわたる攻撃にも八上城はゆるがなかった。丹波武士の勇敢・巧妙な軍略と自然の地形をうまく取り入れた陣地構築が、織田勢を寄せ付けませんでした。しかし、明智光秀の金山城占拠によって形勢が悪化、波多野秀治は51才、弟秀尚は25才で命をたち、城に残った義弟・二階堂秀香ら多くの将兵は2ヶ月の籠城の末、本丸に火を放ちことごとく自刃した。時に天正7年8月9日のことでした。

春日神社登山口から頂上へ

登山口の春日神社の案内板には高城山の史跡の説明があり、神社内には公衆トイレがあります。登山道は丸木の階段で整備され、案内看板も充実しています。始めは木々に囲まれた中を歩きますが、すぐに明るい尾根に出ます。下の茶屋丸跡に出ると、さらに西の展望が広がります。右衛門丸跡、三の丸跡、礎石のある二の丸跡と経て、頂上の本丸跡に到着します。その昔、この山で激しい戦いがあったとは全く想像できないほど静かで自然豊かな登山道です。



アクセス

【電車】JR福知山線「篠山口駅」西口より神姫グリーンバスにて「篠山営業所」行きの乗車後
 ※お帰りの際は、「八上本町」バス停または「十兵衛茶屋」バス停から乗車ください。
 【車】舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」出口左折約6.3キロ 国道372号線0.2キロ右折
 ※注：駐車場は十分にございませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問合せ

- 篠山観光案内所 079-552-3380
- 篠山口駅観光案内所 079-590-2060
- 篠山市役所 079-552-1111
- 神姫グリーンバス篠山営業所 079-552-1157

● 冬期狩猟期間・入山禁止区域にくれぐれもご注意ください。
 ● 目立つ服装で入山し、事故防止に心がけてください。